

承認番号	
課題名	炎症性腸疾患の臨床検査・治療実態把握のための多施設共同後ろ向きコホート研究：旭川 IBD データベース
研究の意義、目的	炎症性腸疾患(IBD)は病態、治療法を含め未だ不明な部分が多く、患者数の増加からもその対策が急務である。IBD は専門性の高い疾患であることから、道北、道東圏の IBD 患者の大多数は、基幹病院に通院しているものと考えられる。これらの基幹病院のデータを集約し、解析することによって、病態の解明となり得る新たな手がかりや、治療法や患者のマネジメントに関わる新たな知見を得ることが出来る可能性がある。
研究期間	実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象者	1990 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の期間に当院に通院されていた、潰瘍性大腸炎、クローン病、分類不能型腸炎の方。
利用する試料・情報の種類	診療情報（詳細：臨床所見（年齢、性別、診断名、発症日、罹患期間、臨床病期、臨床的重症度、治療内容、投薬内容、投薬期間、転帰など）、血液検査所見（白血球、赤血球、ヘモグロビン、血小板、グルコース、Na、K、Cl、Ca、クレアチニン、BUN、尿酸、アルブミン、ALP、ALT、AST、LDH、総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、CRP、LRG、凝固能、各種腫瘍マーカーなど）、便中カルプロテクチン、内視鏡検査所見、病理検査所見、画像検査所見（X 線写真、CT、MRI、超音波など）、その他（アンケート調査票）
外部への試料・情報提供	試料・情報は研究代表施設（旭川医科大学）および自施設のみで利用しますが、学会等での発表を予定しています。
個人情報の取り扱い	本研究で利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
試料・情報を管理する責任者	旭川厚生病院 消化器科 医師：田中 一之
本研究の利益相反	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて、対象者もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、対象者に不利益が生じることはありません。 連絡先・相談窓口 JA 北海道厚生連旭川厚生病院 消化器科 （担当者氏名） 田中 一之 電話番号：0166-33-7171